

とうきょう すくわくプログラム 報告書

実施日 令和 6 年 9 月 4 日 (水)

テーマ 「感触」 年齢 3 歳 クラス きく 組

活動 活動スケジュール

活動	実施日	活動内容	時間	人数/回
水に触れる	9月4日	①水に触れる	15:30~16:00	6名/1回目

問いを考える

水って なんだろう？	手洗いで使う水、水分補給で飲む水、水遊びやプール遊びで触れる水・・・日頃から水見触れる機会が多いので、水に対しては子どもも様々なイメージがある。水そのものに触れて、他の対象物と合わせて水そのものを見つめてみると、その性質について子どもが様々な発見をするのではないか。			
---------------	---	--	--	--

環境をデザインする

場所：2階テラス	2階テラスの上に人工芝が敷いてある。まず水を水道から透明の飼育ケースに注ぎ込む。自由に触れながら数種類の野菜やビニール袋など、用意された別の素材を使って水そのものへの探究を深める活動。			
----------	--	--	--	--

探究活動を実践する 振り返りをふまえた気づき

<p>◎活動内容</p> <p>・水道のホースから勢いよく注ぎ込まれる水。透明のプラスチックの飼育ケースから覗くと、注ぎ込まれた水が水しぶきをあげたり、泡をつくっている。その様子に気づき横から上から眺めて変化を楽しんでいる。午後の陽射しが差しプリズムをつくり虹ができたことに気づく。いつも触れる機会が多い水はケースに入っていると特別に見えたのか、じっくりと様子を眺めている。次に野菜や果物が用意され手にしたものを水の中に入れる子どもたち。浮かぶものと沈むものがあることに気づき浮かぶものはくるくると回転したり、浮いたり沈んだりを繰り返してその場に留まらないことに喜んでいる。また、ビニール袋に入れて間近で水を眺める子ども達。手で掬えない水をもっと近くから眺めて、ビニールに入れたことで形を変えることや透かして見ることで見え方が変わることなどを発見する。様々な場面で子どもからは「きらきらしてる」「ぶくぶくしてる」と様子を形容し、「大きくなった」「白くなった」「光っている」と状況や性質について伝えてい</p>	<p>◎「水って何だろう」と問いかけても「飲むもの」「水鉄砲」など行為として利用するもの、必要な時に使う物という生活の一部として理解している子が多いことに気付いた。◎触ってみて「きもちいい」「つめたい」「泡が出る」など物質としての興味につながる活動だった。◎対象物に別のものが加わることで、そのものへの不思議さや新たな疑問が生まれることがあると気付いた。◎「多い」「少ない」「減っていくもの」「光が当たると光る」「透かすと別の見え方がする」など科学的な気づきや関心を引き出すことにつながった。◎次回は、スライムを使って感触を楽しみたい。</p>
--	--

る子どももいた。